地区補助金事業報告

福山東ロータリークラブ(G-10)

プロジェクト名：

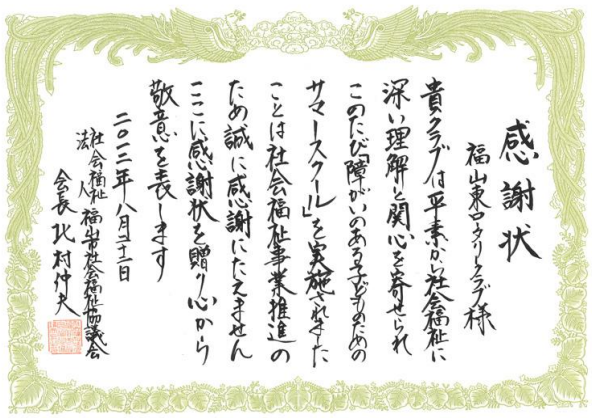
福山市内在住の障害を持った児童（小学生）に、市内外の中学生・高校生のボランティアと協力して、日帰りで野外活動体験、環境学習をしてもらう

プロジェクトの概要：

本年度(2012-2013)、地区補助金事業として承認されたプロジェクトは、「福山市内在住の障がいを抱えた児童たち（小学生）に、市内外の中学生・高校生のボランティアとロータリー会員が協力して、日帰りで野外活動体験、環境学習をしてもらう」ことです。　2012 年 8 月 5 日(日)　9:30～15:30、広島県山間部の神石高原町仙養ケ原にて、福山市内在住の当該の児童たち(小学生)に対して、ロータリー会員のみではなく市内外の中学生・高校生の学生にボランティアとして協力いただき、日帰りで野外活動体験、環境学習をしてもらうための「サマー・スクール」を実施いたしました。　本プロジェクトの受益者は福山市在住の障がいを抱えた児童たち（小学生）です。子供たちが自分たちのみでは経験できない野外活動や環境学習を経験する事ができたと考えています。

私たち福山東ロータリークラブの会員は、

1．子供、ボランティア・家族のキャンプ地への
　　移動手段の援助を行いました。
2．野外活動の安全環境確保のための見守りをしました。
3．中高生ボランティアや保護者に対してロータリーの
　「４つのテスト」を広めました。


感謝状

福山東ロータリークラブ様

貴クラブは平素から社会福祉に深い理解と関心を寄せられこのたび「障がいのある子どものためのサマースクール」を実施されましたことは社会福祉事業推進のため誠に感謝にたえません　ここに感謝状を贈り心から敬意を表します

二〇一二年八月三十一日

社会福祉法人福山市社会福祉協議会
会長　北村仲夫

日帰りキャンプを満喫

神石高原で福山東RC　障害児と家族招待

福山東ロータリークラブ（坂井要会長）は5日、神石高原町上豊松の仙養ケ原ふれあいの里で、福山市内の障害のある小学生とその家族計54人を招いて、宝探しなどを楽しんでもらう「日帰りキャンプ」を開催した。

家族で夏休みの思い出をつくってもらおうと初めて企画。参加者は同市社会福祉協議会（同市三吉町南）を通じて募集した。

宝探しは芝生広場で行われ、宝物に見立てたマグネットを見つけると、しゃぼん玉やフリスビーなどのおもちゃに交換。早速、家族で遊んでいた。

また昼食は、参加者が役割分担してカレーライスを調理し、食べた。

同市立手城小4年坂本祥磨君(9)は「広い芝生を走り回ったり遊具で遊べ、とても楽しかった」と話していた。（南山晴雅）

芝生広場で思い思いに遊ぶキャンプの参加者